

2017年度 BCOJ ボード委員会 活動報告

ビール酒造組合 国際技術委員会
議長 豊嶋 孝一

2017年度のビール酒造組合国際技術委員会（Brewery Convention of Japan、以下 BCOJ）ボード委員会の活動につきまして、以下のとおりご報告いたします。

記

2017年度の国際技術委員会は、下記のメンバーで活動した。

議長	豊嶋 孝一	(サッポロビール株式会社)	
ボード委員	秀島 誠吾	(サントリービール株式会社)	
	井戸田 裕二	(キリン株式会社)	
	渡邊 哲也	(アサヒビール株式会社)	
	島袋 勝	(オリオンビール株式会社)	
分析委員長	室 公志	(キリン株式会社)	
プログラム委員長	堀 智彦	(キリン株式会社)	
ビール酒造組合審議役	藤田 敦		2017年8月まで
	野口 勝弘		
	齋藤 哲哉		2017年9月より
事務局長	飯牟礼 隆	(サッポロビール株式会社)	

【活動内容】

本年度も、BCOJ 活動の目的の実現に向けて取り組み、国際技術委員会を6回、分析委員会を7回、プログラム委員会を7回開催した。

<BCOJ 活動の目的>

1. ビール醸造及び関連産業に於ける原料、資材、生産物を評価するための分析法の統一
2. ビール製造技術者相互交流による科学的、技術的研究の促進
3. 同様の目的を持つ他の国外及び国内の組織との協働

1. 海外関連団体との技術交流

(1) 第36回 European Brewery Convention (EBC) 大会への参加について

2017年5月13日～17日にスロベニアのリュブリャナにて開催された第36回 European Brewery Convention (EBC) 大会に、豊嶋議長、室分析委員長、鈴木分析副委員長、堀プログラム委員長、藤田審議役、飯牟礼事務局長が BCOJ として参加した。Executive Committee へ参加するとともに、BCOJ—EBC のパートナーシップ協定を締結（更新）した。

(2) 2017 American Society of Brewing Chemists (ASBC) Annual Meeting への参加について

2017年6月4日～7日にアメリカ フロリダ州フォートマイヤーズにて開催された ASBC Annual

Meeting に、豊嶋議長、室分析委員長、鈴木分析副委員長、野口審議役、飯牟礼事務局長が BCOJ として参加した。BCOJ 各社のビール 4 ケースずつを本大会に寄贈し、大会期間中に会場で配布された。また ASBC 議長主催のレセプションに招待され、ASBC と BCOJ メンバーが交流した。



EBC とのパートナーシップ協定締結（更新）



ASBC との交流

(3) BCOJ 年次大会の開催と ASBC 議長の招聘について

11月9日(木)～10日(金)、星陵会館（東京）にて2017年度のBCOJ年次大会を開催し、加盟ビール各社、関係官庁、企業等から延べ267名が参加した。本年度も、年次大会での発表、懇親会を通じて、魅力的な商品の開発や美味しさの実現、安全の確保等に関する技術的な知見の向上等を目的として、活発な技術発表、意見交換を行った。

ASBCから、議長（Dr. Chris Powell）、元議長（Ms. Cindy-Lou Lakenburgs）、アジア担当（Dr. Xiang Yin）をBCOJ年次大会に招聘し、ASBC議長より「Are all brewing yeast populations the same?」の演題で講演頂いた。

さらに招待講演としてバルミューダ株式会社の寺尾 玄代表取締役社長より「お客さまがもっとも欲しいもの バルミューダの開発テーマについて」と題してご講演頂いた。懇親会ではバルミューダが開発したBALMUDA The Toasterを使ったチーズトーストの試食会も開催した。



Dr. Chris Powell（ASBC議長）
によるプレゼンテーション



招待講演（寺尾 玄 バルミューダ株式会社
代表取締役社長）



懇親会の様子



ポスター発表の様子

2. 分析委員会による分析法の拡充

- ・分析委員会活動報告参照

3. プログラム委員会による技術交流および共同研究の促進

- ・プログラム委員会活動報告参照

4. ボード委員会の開催

(2) 第1回臨時ボード委員会（2月：ビール酒造組合）

- 議題：
- ・EBC とのパートナーシップ協定締結（延長）について
 - ・ASBC との関係強化策について
 - ・BCOJ 年次大会について

(2) 第1回ボード委員会（4月：アサヒビール社 博多工場）

- 議題：
- ・36th EBC Congress、ASBC Annual Meeting 参加について
 - ・2017年度 BCOJ 功績賞受賞者の選出について
 - ・ASBC との関係強化策について
 - ・BCOJ 共同実験について
 - ・石蔵酒造様との技術交流

(3) 第2回臨時ボード委員会（7月：ビール酒造組合）

- 議題：
- ・関連学会との関係について
 - ・BCOJ 年次大会について
 - ・BCOJ 共同実験について
 - ・共同研究の進め方について

(4) 第2回ボード委員会（9月：キリンビール社 北海道千歳工場）

- 議題：
- ・EBC、ASBC 参加報告
 - ・BCOJ 共同実験について
 - ・BCOJ 年次大会について
 - ・共同研究の進め方について
 - ・カルビー社様との交流

(5) 第3回ボード委員会 (11月、星陵会館)

- 議題：
- ・2017年度BCOJ年次大会日程について
 - ・BCOJ共同実験について
 - ・次年度予算の検討について

(6) 第4回ボード委員会 (12月、ビール酒造組合)

- 議題：
- ・年次大会振り返り
 - ・BCOJ共同実験の報告
 - ・2018年の活動予定について



石蔵酒造様との技術交流
(第1回ボード委員会)



カルビー株式会社北海道工場様との技術交流
(第2回ボード委員会)

以上

(作成：事務局長 飯牟礼 隆)

2017年度BCOJ分析委員会活動報告

分析委員会委員長 室 公志

副委員長 鈴木 康司

2017年度の分析委員会は下記メンバーで活動した。2017年1月1日より12月31日の活動期間を通じ、分析委員会を7回開催した。

委員長 : 室 公志 (キリン株)
副委員長 : 鈴木 康司 (アサヒグループホールディングス株)
委員 : 野場 重都 (アサヒビール株)
宮城 剛 (オリオンビール株)
森田 憲哉 (サッポロホールディングス株)
澤田 美穂 (サントリービール株)
平塚 恭子 (キリン株)

ビール酒造組合審議役 :

藤田 敦 (サントリービール株) 8月まで
野口 勝弘 (キリンビール株)
齋藤 哲哉 (サッポロビール株)
樽岡 誠 (アサヒビール株) 9月より

1. 2017年度BCOJ共同実験

- ・「アルコールライザーによる酒母中のアルコール分析」を2016年度に引き続きBCOJ共同実験の対象とすることとした。
- ・酒母は輸送中にアルコール濃度が変化するため複数試験室による共同試験に適さないことから、キリン社による単一試験室による妥当性検証を行った。
- ・国税庁所定法である蒸留法と比較して遜色のない分析精度が得られたため、認可を得るため東京国税局と折衝を継続している。

2. BCOJ官能評価法の見直し

- ・BCOJ官能評価法の改訂版のゲラ刷りを日本醸造協会に依頼し、サンプルページとして先行して第4章の本文・図・表を分析委員会にて確認し、修正を行った。
- ・第4章の修正例をもとに全体の体裁を修正したゲラ刷りを日本醸造協会で行う。
- ・BCOJ官能評価法改訂版の発行部数、単価を決定する。
- ・これらに従って、ASBC、EBCと著作権代の協議を進める。

3. 2017年度BCOJ勉強会

- ・9月22日ビール酒造組合A会議室にて、以下の勉強会を開催した。参加者はBCOJ各社およびビール酒造組合から約20名であった。

演題：「官能評価訓練のあり方」

講師：センソリー応用研究所代表、石川県立大学非常勤講師 米澤俊彦先生

4. 国際協力活動

(1) ASBC Technical Committee

- ・ ASBC annual meetingに先立ちFort Myersにて6月2日（金）に開催された。
- ・ BCOJ出席者：野口審議役、室委員長、鈴木副委員長
- ・ 昨年以降に行われたASBC共同実験報告書のレビューが中心であった。
- ・ BCOJ分析委員会より2016年後半～2017年前半にかけての活動を紹介した。

(2) ASBC Collaborative Trial

・ 2016年末にASBCよりBCOJ宛にLOX分析法の共同実験への参加依頼があり、アサヒ社から2試験室参加した。その結果は、上記のASBCの中でもレビューがあったが、前年と比べて分析精度は改善されており、分析法は国際法（IM）として登録されることとなった。

(3) EBC Analysis Committee

- ・ EBC 大会に先立ち、Ljubljana, Sloveniaにて5月13日（土）に開催された。
- ・ BCOJ出席者：藤田審議役、室委員長、鈴木副委員長
- ・ 現在課題となっているEBCの共同実験のレビューが中心であった。
- ・ BCOJ分析委員会より2016年後半～2017年前半にかけての活動を紹介した。

5. 情報公開活動

- (1) アルコライザーによる酒母中のアルコール分析法について、ビール酒造組合のホームページにて公知化を行った。
- (2) 2016年度BCOJ年次大会にて分析委員長より分析委員会の活動紹介を口頭で行った。

6. BCOJ 分析委員会中期計画

- ・ 2013年末に策定した2014～2018年の中期計画に従って、活動を行っている。
- ・ 2017年にはBCOJ官能評価法の改訂作業が完了し、2018年には日本醸造協会より出版を行う。主に紙版で出版していく方向性でいる。
- ・ 各社協調領域課題の探索を行った結果、噴きの予知法および寒冷混濁などが候補に挙げたものの、各社間の情報共有まで至らなかった。各社協調領域課題については、今後も随時探索していく。

以上
(文責：鈴木 康司)

2017年度プログラム委員会活動報告

プログラム委員長 堀 智彦

2017年度のプログラム委員会は、下記のメンバーで活動した。

委員長	堀 智彦	(キリン株式会社)
副委員長	脇平 崇浩	(アサヒビール株式会社)
委員	倉兼 敏	(サントリービール株式会社)
	蛸井 潔	(サッポロビール株式会社)
ビール酒造組合審議役	野口 勝弘	(2017年9月まで)
	齋藤 哲哉	
	樽岡 誠	(2017年10月より)

《活動概要》

- ・ 2017年度のプログラム委員会は、計7回開催した。
- ・ 2017年度BCOJ年次大会は、11月9日、10日の2日間で開催し、268名の参加があった。大会での発表は、EBC、ASBC、MBAA再演（オーラル15件、ポスター12件）、招待講演（バルミューダ社 寺尾社長）であった。質疑の質や量も高く、活気のある年次大会となった。大会開催については引き続き多数の方々から継続を支持されており、今後もより良い大会を目指していきたい。
- ・ 2008年6月より開始した東原和成教授（東京大学農学部生物化学研究室）との共同委託研究については、プログラム委員会がその企画、窓口となり、委託研究費用は0円として継続した。円滑な研究推進に向けて、必要に応じて研究室を訪問し意見交換を行った。

《委員会》

- ◆1月25日 第1回委員会（キリンビール 横浜工場）
2017年度各委員担当確認、年次大会について、招待講演について、委託研究について
- ◆3月6日 第2回プログラム委員会（アサヒビール 四国工場）
年次大会について、委託研究について、プログラム委員会の開催場所について
- ◆4月18日 バルミューダ社 寺尾社長訪問 招待講演 事前打ち合わせ
- ◆6月20日 第3回プログラム委員会（ビール酒造組合）
委託研究について、招待講演について、年次大会について
東原先生訪問 委託研究進捗確認、契約更新確認
- ◆8月4日 第4回プログラム委員会（サッポロビール 北海道工場）
年次大会に向けた工程表確定、委託研究について
- ◆10月6日 第5回プログラム委員会（星陵会館）
年次大会と懇親会の準備および運営に関する詳細内容確認、委託研究について
- ◆11月8日 年次大会前日準備
- ◆11月9、10日 年次大会
- ◆11月22日 第6回プログラム委員会（サントリー酒類 梓の森工場）
年次大会振り返り、翌年の活動について

◆12月19日 第7回プログラム委員会（ビール酒造組合）
次年度の懇親会について

以上

（作成：プログラム委員長 堀 智彦）

ビール酒造組合国際技術委員会（BCOJ）事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-16-7 銀座大栄ビル 10F ビール酒造組合内

TEL：(03)3561-8386（代表） FAX：(03)3561-8380 E-mail：info@brewers.or.jp

ホームページ：<http://www.brewers.or.jp/bcoj/index.html>